

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[30]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[7]年、階級[消防士]、同様の活動 [1 年に数度]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[28]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[5]年、階級[消防士]、同様の活動 [1 年に数度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[36]歳、勤続年数[17]年、現場経験年数[17]年、階級[消防士長]、同様の活動 [1 年に数度]、任務 [車長]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	C	活動（三連はしご、架てい位置等）指示	
経過2	A	三連はしご上で、梯上放水中	
経過3	B	三連はしご確保	
経過4	その他	外壁と屋根の間隙から火炎噴出	
経過5	A	三連はしご上部が火炎を浴びる	
経過6	C	地上への退避及び三連はしご縮梯指示	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

.....

- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？
 ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

避難・退避がうまくいった。他隊(員)との連携活動がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

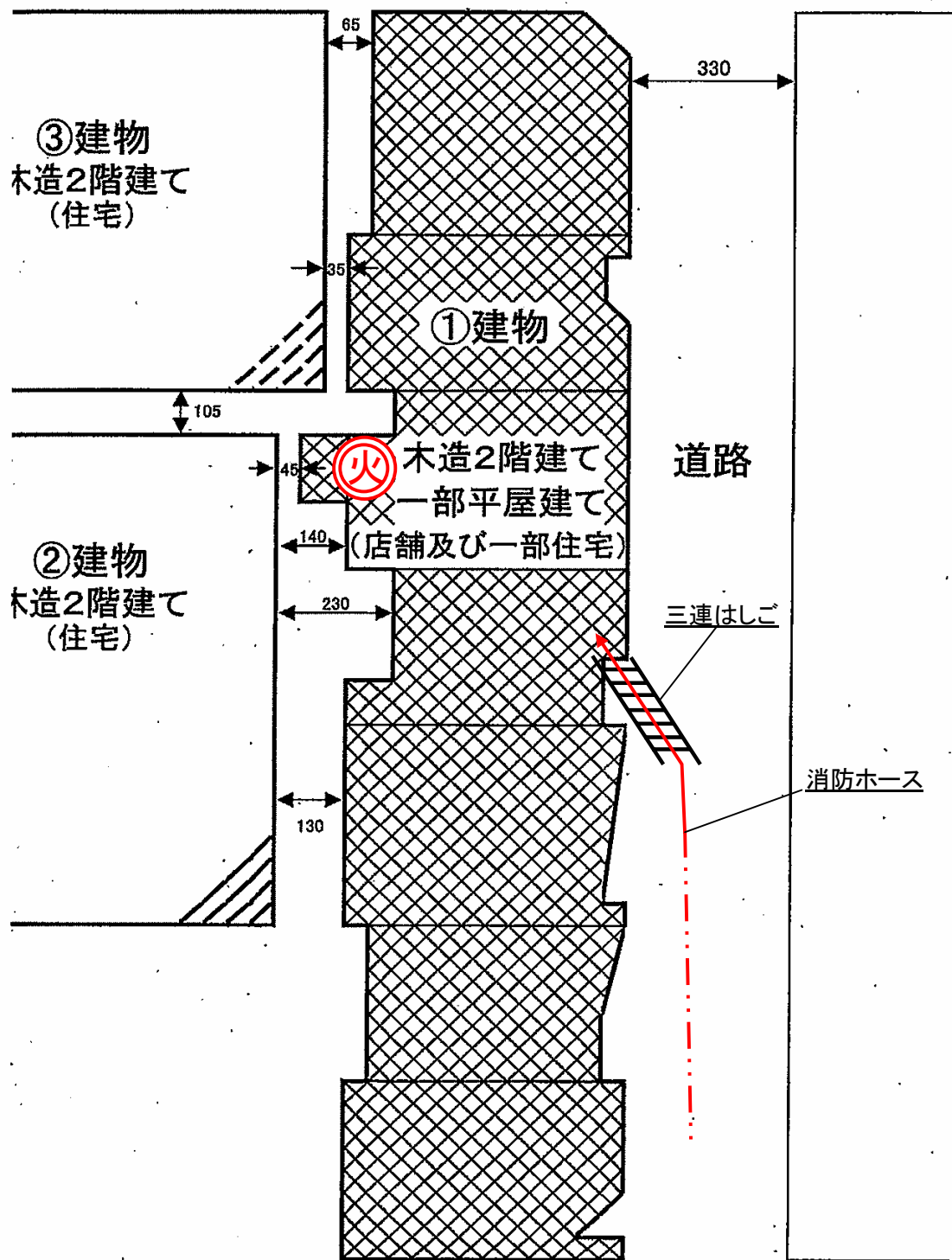
○その他

l. その他の理由があった。

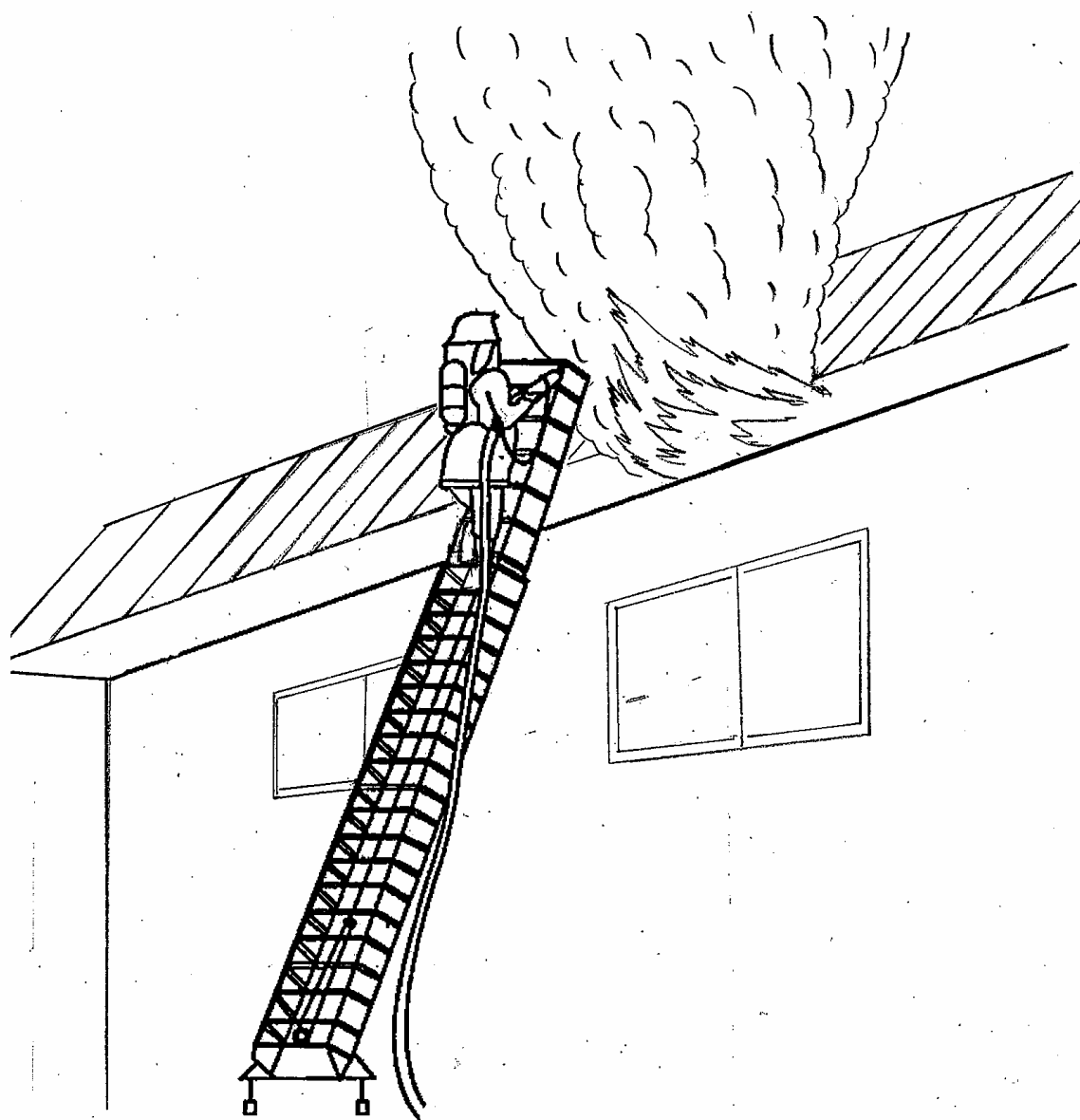
いいえ

建物配置図

道路



現場状況図



・発生日時 :平成18年2月20日 午前 0時頃

経過	現場の状況	隊員A(機関員)	隊員B(隊員)	隊員(車長)	備考
		隊員／消防士 ・年齢 30 歳 ・勤続 7 年 ・現場 7 年 ・同様の活動:1年に数度	隊員／消防士 ・年齢 28 歳 ・勤続 5 年 ・現場 5 年 ・同様の活動:1年に数度	隊員／消防士長 ・年齢 36 歳 ・勤続 17 年 ・現場 17 年 ・同様の活動:1年に数度	
出動指令 出動途上 現場到着 活動初期 活動降中期	出動指令				火災出動
	出火建物(7軒長屋)は昔の長屋(築約60年経過)	現場到着			
	最盛期			長屋(出火部分隣)外壁の三連はしご上に配備するよう決定 活動(三連はしご、架てい位置等)指示	
	外壁と屋根の間隙から火炎噴出し、三連梯子上部が火炎を浴びる	三連はしご上で、梯上放水中	三連梯子確保		古い建物構造の長屋のため、屋根等の構造材を部分的に共有しており、屋根裏からの延焼拡大スピードを予想できなかった
		火炎を浴びそうになる		地上への退避及び三連梯子縮梯指示	
		地上へ退避	三連梯子縮梯		

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？	
○直接的な原因:状況判断に問題があった。 ・避難・退避がうまくいった。 ・他隊(員)との連携活動がうまくいった。	
◎ヒヤリハットが起きた背後要因	
(心理・体調について) ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 (活動環境について) ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。 ・狭隘な場所であった。	